

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校高等部 芸術（美術）解答用紙（2枚のうち1）

3	得点	
---	----	--

--

(1)	①	ア	作者名	レンブラント・ファン・レイン（レンブラント）	／	
			作品名	夜警	／	
		イ	作者名	オーギュスト・ルノワール（ルノワール）	／	
			作品名	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	／	
	②	ルネサンス後の 17 世紀、画家たちは調和を重んじる表現から、よりインパクトの強い表現をめざした。この時代の芸術をバロックといい、作品ア（レンブラントの「夜警」）からは、あえて暗い色調で描き、劇的に見せるためスポットライトを中心の 2 人に当てているかのように描くことで光と影の明暗の対比から作者の主題が強調されている。				／
		その後 18 世紀では写実主義を経て、絵の具を長時間保存できる金属チューブの開発により、画家たちは戸外で制作できるようになった。その時代の代表的な作家であるモネは刻々と変化する自然を見逃すまいと何度も同じモチーフを描き続け、物体の輪郭や奥行きがはっきりしない絵が特徴的である。作品イのルノワールも同様に、パリ郊外の野外ダンス上で踊る人々を情感豊かに描いた。特徴的なのは降り注ぐ光を地面や人の背中に斑点のように描き、ゆらめく木漏れ日をうまく表現している。				
(2)	プロジェクションマッピング				／	

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校高等部 芸術（美術）解答用紙（2枚のうち2）

4

得点	
----	--

--

(1)	題材名	私の思い広げていこう SDGs〇〇の目標 /
	題材の概要	SDGs 17の目標をテーマに、感情やイメーなどを単純化や強調等を意識して石粉粘土で表すことに関心をもち、安定感や緊張感等造形の美を感じ取りながら美術がもつ力を考える。総合的な探求の時間で、17の目標を調べることで課題に向き合い、自身が一番強く表したい目標から主題を生成し、形や質感、重心やバランス、どんな場所にどんな大きさを設置することで、より美術の力が発揮されるのか等を総合的に考えながら、発想や構想を練る。その際、作品は模型サイズとなるが、実際に設置することをイメージする。 制作段階においては、石粉粘土の特性を活かしながら、形や質感がもたらすイメージに着目し、意図に応じた表現方法を追求める。完成した作品はタブレットを使用し、設置したい場所の写真と合成し、互いに鑑賞し合うことで、美術の力を感じ取る。 /
(2)		導入では、池田学の「誕生」から作者の思いと美術の力を感じ取った後、彫刻作品を数点グループで鑑賞することで、形や質感、バランスがもたらす安定感や緊張感等のイメージを感じ取り、発想や構想を行う。 /
(3)		グループで彫刻作品を鑑賞する際に、造形的な視点のキーワードを数多く出させる。またそのキーワードを常に黒板に貼って可視化することで、造形的な視点に常に意識をもてるようにする。また、発想の段階ではマインドマップ等で思考を言語化したり整理したりすることで発想をふかめていく。 /

--

--

--